

■ 基本方針と実現施策の評価・検証結果

凡例：「○」… 達成 ，「△」… 実施したが目標を達成できない ，「×」… 未実施 ，「－」… 評価・検証した時点で達成または未達成を評価・検証できない

基本方針 1：下水道施設の機能維持				対象となるSDGs		評価・検証結果	実績
課題	基本目標	実現施策	具体的な取組	評価指標	目標値	R 6 年度	
1 更新時期を迎えた施設の計画的な更新	(1) 施設の更新（ストックマネジメント計画に基づく計画的な更新）	① 計画的な処理場及びポンプ施設の更新	ストックマネジメント計画に基づく計画的な更新	計画に基づく事業実施資産数	204資産／ R 6 年度まで	△	継続 国費の内示を受け、調整
		② 幹線污水管路施設の更新（布設替）	R 3：基本設計、R 6：実施設計、R 7以降：工事実施	計画に基づく事業実施延長	1.4km／R 12度まで	－	継続
		③ 枝線污水管路施設の更新（更生）	管渠更生 R 4：0.47km、R 5：更生:0.48km	計画に基づく事業実施延長	0.95km／ R 6 年度まで	△	継続 国費の内示を受け、調整
		④ 汚水マンホール施設の更新	マンホール蓋改築更新工事	計画に基づく事業実施数量	260か所／ R 6 年度まで	△	継続 国費の内示を受け、調整
		⑤ 管路施設の更新（岡当日マンホールポンプ）	マンホールポンプ交換工事	計画に基づく事業実施数量	1 か所／5 年	○（R 3）	R 3 実施
		⑥ 施設の最適化	将来的なスペックダウン、ダウンサイジングを考慮した施設の最適化の検討	施設最適化に向けた見直し検討回数	1 回／年	○	継続
		⑦ 雨天時浸入水対策	R 4：雨天時浸入水対策計画を策定 R 5：中ブロックへの絞り込み調査 R 6：小ブロックへの絞り込み調査	流域調査面積	R 8 年度まで	○	R 4 計画策定。R 5・R 6 実施。
2 施設の計画的な耐震化及び耐水化	(2) 施設の耐震化及び耐水化	① 施設の耐震化（総合地震計画に基づく計画的な耐震化）	総合地震計画策定	総合地震計画の策定	R 6 年度まで	○	R 3 実施。R 6 見直し。
			管路施設詳細診断業務 R 4～R 11	計画に基づく事業実施率（計画延長34.2km）	100％／R 11年度まで	－	継続
			1－3 系水処理棟耐震補強 R 4～R 6	計画に基づく事業実施率	R 6 年度まで	△	継続 国費の内示を受け、調整
			新屋下水ポンプ場耐震診断	計画に基づく事業実施率	R 4 年度まで	○（R 4）	R 4 実施
		② 施設の耐水化（耐水化計画に基づく耐水化）	耐水化計画策定	耐水化計画の策定	R 3 年度まで	○（R 3）	R 3 実施
			計画に基づく耐水化対策（ソフト面）の実施	計画に基づく対策	R 4 年度まで	○（R 4）	R 4 実施
			現状把握、先進事例の研究	先進事例、実施踏査等による研究回数	1 回／年	○	継続
3 適正な施設の維持管理	(3) 点検調査に基づく維持管理（ストックマネジメント計画に基づく計画的な点検調査）	① スtockマネジメント計画の見直し	計画的な污水管渠施設の点検調査（管渠、マンホール、マンホール蓋）	計画に基づく調査業務実施の実績	9 km／年	○	継続
		② 施設管理システムの活用	施設管理システム導入の検討	施設管理システム導入の検討回数	1 回／年	○	継続
4 環境問題への取組の継続	(4) 環境に配慮した施設運営	① 水質（放流水等）管理	計画に基づく水質検査の継続実施	計画に基づく検査実施率	100％／年	○	継続
		② 発生汚泥の資源化	発生汚泥の100％資源化の維持	発生汚泥の資源化率	100％／年	○	継続
5 雨水への対策	(5) 雨水浸水対策の検討	① 雨水事業の推進	雨水浸水域の解析	雨水浸水域の解析	R 3 年度中	○（R 3）	R 3 実施
			雨水管理総合計画の策定	雨水管理総合計画策定	R 4 年度中	○（R 4）	R 4 実施
6 新技術の活用	(6) 新技術の活用	① 新技術の調査・検討	新技術導入に関する情報収集	研修会・企画展参加等による研究回数	1 回／年	○	継続

基本方針２：持続可能な事業運営のための組織強化				対象となるSDGs		評価・検証 結果	実績
				4 6 8 11 17			
課題	基本目標	実現施策	具体的な取組	評価指標	目標値	R6年度	
1 業務執行体制の弱体化	(1) 人材育成及び技術・知識継承	① 内部研修（OJT）の実施	内部研修（OJT）の実施	実施または受講回数	1回／人・年	○	継続
		② 外部研修（OFF-JT）への参加	外部研修（OFF-JT）への参加	受講回数	1回／人・2年	○	継続
		③ 先進事業体との情報交換等	情報交換会の企画・参加	企画または参加回数	1回／人・年	○	継続
	(2) 適正な人員配置・執行体制の確保	① 適正な人員要求	市人事部局への要求	市人事部局への要求実施	1回／年	○	継続
2 複雑化及び増加する業務への対応	(3) 業務の効率化	① 各種事務の効率化	業務の把握・見直し	業務改善の提案件数	1回／年	○	継続
		② 業務マニュアルの更新	業務マニュアルの見直し	業務マニュアルの見直し回数	1回／年	○	継続
		③ ICTの導入・DXの推進	ICT導入・DXの推進に関する情報収集	研修会・企画展参加等による研究回数	1回／年	○	継続
		④ 処理場等施設包括的民間委託の向上	委託レベル1からレベル2以上への検討 ※レベル1：運転管理の性能発注 レベル2：運転管理とユーティリティ管理を併せた性能発注	現状把握、向上検討会議の実施回数	1回／年	○	継続
		⑤ 管路施設の包括的民間委託の検討	現状把握、先進事例の研究	現状把握、先進事例の研究回数	1回／年	○	継続
3 災害時の適正な対応	(4) 危機管理対策の強化	① BCP（災害時行動マニュアル）更新	BCP（災害時行動マニュアル）の見直し	BCP（災害時行動マニュアル）の見直し実施回数	1回／年	○	継続
		② 応急復旧体制の確保	近隣市及び民間から応急復旧用資材確保の検討	応急復旧用資材確保の検討回数	1回／年	○	継続
4 経営戦略等各種計画の適正執行	(5) 経営戦略等の進捗管理	① PDCAサイクルのローリング	実績・検証会議の実施	実績・検証会議の実施及び分析結果の公表回数	1回／年	○	継続

基本方針３：経営基盤の強化				対象となるSDGs		評価・検証 結果	実績
				6 8 17			
課題	基本目標	実現施策	具体的な取組	評価指標	目標値	R6年度	
1 収益的収支ギャップの 解消	(1) 経費回収率の向上	① 事業年度ごとの検証	決算を踏まえた財政シミュレーションの実施	決算を踏まえた財政シミュレーションの実施	1回／年	○	継続
		② 審議会による見直しの検討	審議会の開催	審議会の開催	1回／5年	○（R4）	R4 審議会開催。R5使用料改定。 継続（次回、R9開催を予定）
	(2) ※（水洗便所設置済人口／処理区域内人口）	① 普及促進活動の実施	郵送及び訪問による普及促進活動	郵送及び訪問による普及促進活動	50件／年	○	継続
					水洗化率 0.2％／年 向上	○	水洗化率（％）＝ 水洗便所設置済人口 ÷ 処理区域内人口 × 100 ※水洗便所設置済人口には単独浄化槽、合併処理浄化槽の利用者を含まない。
2 適切な財源確保	(3) 財源確保	① 適正な国県補助・交付金の受入れ	ストックマネジメント計画・投資財政計画に基づく適正かつ適切な財源確保	ストックマネジメント計画・投資財政計画に基づく適正かつ適切な財源確保	1回／年	○	継続
		② 効率的かつ効果的な企業債の活用	ストックマネジメント計画・投資財政計画に基づく適正かつ適切な財源確保	ストックマネジメント計画・投資財政計画に基づく適正かつ適切な財源確保	1回／年	○	継続
		③ 一般会計繰入金精査	市財政部局との協議に基づく適正かつ適切な財源確保	市財政部局との協議実施に基づく適正かつ適正な財源確保	1回／年	○	継続
	(4) 適正な資産管理	① スtockマネジメント計画の精度向上	点検調査結果及び改築更新データを台帳システムへ蓄積	資産台帳及び下水道台帳の更新回数	1回／年	○	継続
3 公共下水道事業の理解 不足	(5) 積極的な情報発信	① 多角的（戦略的な）広報の実施	経営状況、事業実施状況等の情報公開	予算、決算の公表	1回／年	○	継続
				経営戦略の改定回数	1回／5年	－	経営戦略は5年に1回見直すこととしている。R7度見直し予定
			施設見学の受入れ	ホームページの更新回数	1回／年	○	継続
				施設見学希望者の受入れの実施	都度	－	施設見学希望者なし。継続
4 「広域化・共同化」の 検討	(6) 「広域化・共同化」の 検討	① 県との情報共有	県主催の検討会への参加	検討会への参加回数	1回／年	○	継続
		② 近隣市との情報共有	近隣市との実務研修会・検討会の共同開催	研修会・検討会への参加回数	1回／年	○	継続

※本表については、各施策の進捗に伴い、評価検証と併せて修正を行っていくものとします。